

記載例：都道府県

調書（1）都道府県（22部門）

（様式3の4）

令和6年11月1日 現在

都道府県番号	0	推薦都道府県名	職業部門番号	22	職種名（1）	職種名（2）	
		〇〇県			汎用金属工作機械工	マシニングセンタオペレーター	

推薦都道府県名欄、都道府県番号欄
プルダウンから推薦都道府県名を選択すること。
選択した都道府県に対応する番号が自動で都道府県番号欄に挿入される。

職業部門番号・職種名（1）（2）欄
「実施要領 別表」第1部門～第21部門を参考に職種を記入する。（P.6参照）

氏名・現就業先事業所名の外字欄
被推薦者の氏名・現就業先事業所名に変換できない文字または特定のフォントでしか表示できない文字がある場合、必ずここに記載する。

ふりがな	ぎのう ゆうこ	性別	女	生年月日	氏名・現就業先事業所名の外字
氏名	技能 優子	年齢	42	昭和56年12月17日	例：「藤」は草冠が「十」のように離れた字、「刃」は「刃」のように突き出る字

氏名・ふりがな・性別欄
住民票に記載されている字画で氏名を記入し、ふりがなを付け、名字と名前の間に**全角スペースを1つ挿入**する。
性別欄は住民票に記載されている性別をプルダウンから選択する。

生年月日・年齢欄
生年月日を入力すると和暦に変換される。
入力は和暦の場合「年号（昭和、平成、令和）yy年mm月dd日」、「年号（S,H,R）yy.mm.dd」（ドット区切り）又は「年号（S,H,R）yy/mm/dd」（スラッシュ区切り）、西暦の場合「yyyy/mm/dd」（スラッシュ区切り）のように入力する。
「年齢」欄は生年月日を正しく入力すると自動で挿入される。
○「S15.10.9」「S15/6/23」「1943/2/25」「昭和39年12月13日」
×「1940.7.7」「1942.6/18」「昭和15年10月24日」→エラーとなる

障害名・障害程度欄
被推薦者の障害者手帳に記載されている障害名及び障害程度をプルダウンから選択する。

障害名・障害程度	障害名	有無	障害程度第1種第2種	障害程度（等級）	障害名	有無	障害程度	障害名	有無	障害程度
		身体障害（視覚障害）				知的障害		療育手帳による程度の区分 判定書による重度判定	精神障害	
	身体障害（聴覚障害）	○		2級						
	身体障害（音声・言語）									
	身体障害（肢体不自由）									
	身体障害（内部障害）									

【障害程度について】
○療育手帳による程度の区分
療育手帳等で次の記載が確認される場合は「A」を選択（AとはA、A1、A2、A3、1度、2度、A重、A中、A2a、A2b、A最重度、A重度）。それ以外は「B」を選択。
○重度知的障害者判定による重度判定
療育手帳による程度の区分「B」のうち、地域障害者職業センターが行う重度知的障害者判定を受け、判定書が交付された者については、当てはまる判定結果を選択。

現住所
〒 000-0000
都道府県 〇〇県
市区町村 〇〇市〇〇町〇丁目〇-〇
〇〇マンション〇〇号室
TEL 000-000-0000

現住所欄
被推薦者の現住所および電話番号を省略等せずに記入する。
住民票の住所と実際に居住している居所が異なる場合は、居所を記入する。

職歴欄

就業先事業所の名称、職務内容、地位及び役職等を順番に記入する。団体歴、公職歴、家業手伝い、学生時代のアルバイト、推薦を受ける技能と関係の無い職種に従事していた期間は記入しない。ただし、いわゆる企業内学校において、推薦を受ける技能と直接関係がある職種の訓練を受けた期間は職歴となる。

また、「係長」等の役職についていない場合であっても、職場において指導する担当になった際は、記載する。

現役職歴は最後に「～現在に至る」と記入する。

職歴	在職期間（年月日）	在職年月数
(株)〇〇工業〇〇支部第二製造部〇〇課に電機工として就職	H8.4.1 ~ H27.3.31	19年0月
(株)〇〇工業〇〇支部第二製造部××課に配置転換	H27.4.1 ~ R2.3.31	5年0月
同課の××班の指導係員に就任し現在に至る	R2.4.1 ~	4年7月

在職期間（年月日）・在職年月数欄

上記「生年月日」欄と同様に在職期間を正しく入力すると和暦に変換され、「在職年月数」欄に在職年月数が自動で入力される。

就業先

事業所名① 株式会社 〇〇工業

事業所名② 〇〇支部

事業所全体の従業員数 120人

所在地

〒 000-0000

都道府県 〇〇県

市区町村 〇〇市〇〇町〇〇〇-〇

TEL 0 〇〇-0000 (内線****)

就業先欄

事業所名①欄には、雇用事業所名を、自営の場合は屋号等を省略せず正確に記入する（法人格を省略したりしないこと）。

事業所名②欄には、拠点名があれば記載する。
 (例：「〇〇工場」「〇〇支店」「〇〇営業所」)

また「所在地」欄には、郵便番号、所在地及び電話番号を略さず記入する。

令和6年11月1日以前に就業地が変更となることが推薦時に確定している場合は「(〇月〇日より変更予定)」と記載する。

なお、推薦後に就業地が変更となった場合は速やかに連絡する。

在職期間 計	28年7ヶ月
重複期間を除く在職期間 計	28年7ヶ月

現職については、別に示す年月日をもって終期とすること。

事業所全体の従業員数欄

被推薦者も含めた人数を半角数字で入力する。就業者が被推薦者のみの場合は、0ではなく1を入力する。

表彰歴欄

表彰を有する場合、表彰の概要及び取得年月を記入し、表彰を証する書面の写しを全て添付する。

なお、技能に無関係な「感謝状」「永年勤続表彰状」等は記入しない。

表彰歴	表彰の種類	表彰の概要	取得年月
	大臣表彰	障害者雇用優良事業所等厚生労働大臣表彰（優秀勤労障害者）	H〇年〇月
	知事・行政機関の局長表彰	〇〇県優秀勤労障害者	H〇年〇月
	全国レベルの業界団体表彰		
	その他		

大会入賞歴等欄

地方アビリンピック入賞歴、技能五輪国際大会入賞歴、技能五輪全国大会入賞歴がある場合は、開催回、競技種目名、順位を記入し、入賞を証する書面の写しを全て添付する。

免許・資格等欄

免許、資格、特許、実用新案等を有する者については、当該免許等の概要及び取得年月を記入し、免許等を証する書面の写しを全て添付する。本表彰と直接関連がない「普通自動車運転免許」等は記入しない。

大会入賞歴等	大会名など	開催回	競技種目名	順位	免許・資格等	免許・資格等の名称	取得年月
	国際アビリンピック						
全国アビリンピック	第32回	機械CAD	銅賞				
地方アビリンピック	第11回 第10回	機械CAD	金賞				

（様式3の4）

都道府県番号	都道府県名	職業部門	職種名（1）			職種名（2）			ふりがな	ぎのう ゆうこ	
0	〇〇県	22	汎用金属工作機械工			マシニングセンタオペレーター			氏名	技能 優子	
障害名・障害程度	障害名	有無	障害程度第1種	障害程度第2種	障害名	有無	障害程度	障害名	有無	障害程度	
	身体障害（視覚障害）				知的障害		療育手帳による程度の区分	精神障害			
	身体障害（聴覚障害）	○		2級							
	身体障害（音声・言語）								判定書による重度判定		
身体障害（肢体不自由）											

都道府県番号から障害名・障害程度欄まで
調書1に記載したものが自動で反映。

過去5年の推薦回数欄
過去5年において被推薦者が卓越した技能者の表彰について厚生労働大臣に推薦された年度及び推薦合計回数を記入する。
なお、過去5年で初めて推薦される場合は計0回と記入する。

過去の5年の推薦回数	推薦者及び推薦理由	推薦者及び推薦理由欄
年度	（所在地又は住所） 〒 〇〇〇-〇〇〇〇 都道府県 〇〇県 市区町村 〇〇市 〇〇町〇-〇-〇 （推薦都道府県知事名） 〇〇県知事 〇〇 〇〇 （推薦理由） 氏は〇〇の障害があるが、〇〇の職場環境の工夫をしながら、マシニングセンタオペレーターにかかる優れた技能を有しており、その技能を活かして、最も重要かつ高い技能が求められる〇〇業務に指導係員として従事している。日々の業務において後進者を指導し、事業所全体の技能レベルの向上に大きく貢献した。また、〇年にわたりアビリンピックの指導を行い、数多くの全国アビリンピック受賞者を輩出するなど、後進技能者の指導・育成に貢献した。以上のことから本被推薦者は、優れた技能を有する〇〇として、その技能を伝承する上で大きな役割を担っているため推薦する。	推薦者及び推薦理由欄 推薦者の所在地または住所、電話番号及びその推薦理由を記入する。推薦者氏名は、都道府県知事名とするが、空席時等やむをえない場合は職務代行者であることを明記し、職務代行者名を記入する。 都道府県知事推薦の1位の者に関しては、他の候補者と比較して最上位とした理由も併せて記入する。
年度		
年度		
年度		
年度		
計 0 回		
推薦順位等		
選考対象者総数 30人		
推薦総数 4人		
推薦順位 1位		

卓越した技能の概要欄
P10 4. 「卓越した技能の概要」欄に記載の各項目を参照の上、記入する。ただし、一業で記入することが困難な場合は、調書（3）（4）まで記載して差し支えない。

推薦順位等欄
・選考対象者総数欄…推薦に当たり、被推薦者とならなかった者も含め選考の対象とした全ての人数を記入する。なお、厚生労働大臣への推薦に当たり、管轄の市区町村、商工関係機関又はその他の団体等に推薦を依頼した上で候補者の選定を行っている場合は、当該推薦人数を記載し、潜在的な人数を記載するなど、過大な人数を計上しないように留意する。
・推薦総数欄…被推薦者の全部門における総数を記入する。
・推薦順位欄…被推薦者の全部門における推薦順位を記入する。

卓越した技能の概要			
技能の概要	功績・貢献の概要	技能の指導及び育成の概要	現役性
1 優れた組立技能 氏は、〇〇の障害がありながら、機械CADをはじめとした、マシニングセンタオペレーターにかかる卓越した技能を有する。1/1000単位等非常に正確さを要するこの作業について、金属の性質や回転数を考慮しながら、他の技能者であれば、通常〇〇日かかるところ、氏は作業スピードのアップを図り、〇〇日で効率的に完成させる工夫を行い稼働率は〇〇%アップし、企業の業績にも大きく貢献している。また、氏の存在により定稼働がなされているといっても過言でない。	1 業界における障害がある技能者の技能向上への貢献 全国アビリンピックに機械CAD職種として3度出場し、第32回大会では銅賞を受賞するなど、業界における障害がある技能者の技能向上に多大な貢献をした。 2 社内への貢献 氏は〇〇社〇〇部門に採用され、勤続〇〇年従事しており、その知識と技能は、他の従業員の模範となっており、周囲の従業員からも相談を受けたり、指導も行っている。	1 第二製造部〇〇課××班における後進者指導 上記班に所属する〇名の職員に対し〇〇業務の指導を行い、職員に豊富な知識を伝えることで、事業所内の周囲や職員の後進の育成に貢献している。 2 アビリンピックの指導 優れた技能を用いて、〇〇年間にわたり、機械CAD職種の指導を行ったことで、〇名が全国アビリンピックに出場しうち〇名が受賞した。	第二製造部〇〇課××班の指導係員として日々〇〇業務に従事する傍ら、アビリンピックの指導を行い後進育成にも尽力している。 1 日の主な作業内容及び時間は次のとおり。 1 〇〇業務：〇時間 2 大会指導：〇時間 (大会直前期は△時間)
卓越した技能の概要欄 上記の記載は、参考に記載したものであり、記載の分量は例によらず具体的かつわかりやすく詳細に記入すること。			